

# 私たちの山梨大学に 放送局 を作ろう



いま私たちには情報発信が求められています。

山梨大学を紹介したとき、しばらくの沈黙の後で

「ええっと、あの駅伝で有名な大学ですよね」

といわれた経験はありませんか？ 私たち自身の大学は私たちの力で、私たちの活動によって存在を示していかなければなりません。大学のパワーの源は、私たち学生なのです。

就職活動だってそう。個人が誰であるかを情報発信する力が必要です。

情報発信をする学生組織を作りたい。

情報発信をするときには、手段が必要です。新聞やパンフレットを使うという方法があります。ところが、山梨大学にはこれまでに忘れられていた手段があります。それが「放送」です。山梨大学には放送部がないのです。

私たちは、定常的に情報発信を行う学生組織を作りたいと考えています。



あなたと一緒にやりたいことがあります。

- インターネットラジオ番組の企画・作成・配信を行います。

まずは15分程度の番組を週に1回提供することから始めて、活動規模の拡張にあわせて最終的には毎日配信することを目指します。番組内容は、学内のイベントの紹介や、甲府駅北口周辺の地域に密着したニュースを核として、参加者の興味に合わせて内容を充実させます。

- 地域にコンテンツを「放送」します。

甲府キャンパスを中心に、放送の仕組みを作り上げます。たとえば、FM放送を実際に行うことを目指します。

- インターネットの力を利用します。

放送の仕組みづくりには、インターネットの力を積極的に使います。インターネットを使ってコンテンツを配信することはもちろん、様々なアプリケーションを、私たち自身で作ることを目指します。たとえば、見守りサービス（保育園・幼稚園の送迎バスの運行情報を取得して知らせる）や、防災無線サービス（音声放送されている「安心安全情報」を文字情報として知らせる）、デジタル広告（リアルタイムに変化する看板）が考えられます。

- 他大学、企業、地域社会との連携を重視します。

私たちの活動には、さまざまな専門性が必要です。甲府駅を中心とした大学や学校、企業にも呼びかけて、地域密着活動を行う「放送局」にしたいと考えています。最終的には、これらの活動を大きくして、独立した組織体（例えばNPO）をつくることを目指します。

- プロジェクトをゼロから作り上げる活動を通して、リーダーシップとやりぬく力を育てます。

この活動をすすめることが、あなた自身の成長につながります。一緒にがんばりましょう。

参加申込は、別紙「参加申込要領」を見てください。質問等は担当教員まで。

連絡先：コンピュータ・メディア工学科  
郷 健太郎 (go@yamanashi.ac.jp)  
小俣 昌樹 (masakio@yamanashi.ac.jp)

